

令和3年度 デジタル技術活用による 第2期 新ビジネス創出支援補助金

受付
期間

令和3年 10/18(月) ~ 11/5(金)

新型コロナウイルスの感染拡大は、新たな日常の模索など世界規模での社会環境の変化を引き起こしました。こうした変化に対応するためには、企業はデジタル技術の活用を積極的に進め、ビジネスの最適化・効率化や新たな付加価値を生み出し、事業の競争優位性を高めるデジタルトランスフォーメーション（DX）を進めることが重要です。本制度では、これらの社会環境の変化に対し、デジタル技術を活用した革新的な新ビジネス創出に向けた実証及び事業化の取組を補助します。

補助対象事業

- 対象要件**
- ▶ IT/IoT等デジタル技術の活用を基軸とした新しいビジネスモデルであること
 - ▶ 特定企業内の課題ではなく、新ビジネスとして他社への展開が見込めること
 - ▶ 概ね3年間以内に事業化が見込めること

対象とならない
事業例

- ▶ 要素技術の研究開発のみに留まるもの
- ▶ 世の中で一般的に使われているデジタル技術の応用（Webページの製作など）に留まるもの
- ▶ 自社内の生産性向上のみに留まる研究開発
- ▶ 特定企業からの受注開発に対する経費

補助対象者

- ① 北九州市内に本社もしくは事業所を有する企業・組合
- ② ①を構成員に含むコンソーシアム

※コンソーシアムとは複数の事業者（企業、組合、研究機関）で構成された、事業を共同連帯して実施する事業体を指します。

補助額

最大 300 万円

※「事業化支援補助」への応募の場合、「実証支援補助」への応募の場合は補助額最大100万円となります。事業化支援への応募でも事業内容により実証支援補助として選定する場合があります。詳細は公募要領をご覧ください。

対象経費

- ① 物品費
- ② 労務費
- ③ その他経費

補助率

中小企業者
補助対象経費の2/3以内
中小企業者以外
補助対象経費の1/2以内

※本補助制度提案にあたっては公募要領をよくお読みいただき内容をご確認ください。

補助事業の流れ

概要レベルで提案可能

★採択後計画の詳細化を行います

FAISコーディネーターの支援を受けながら作成！

★実証フィールドや有識者の紹介、実証内容についてのアドバイスなど

応募

審査・採択決定

11月中旬

実施計画書作成

11月下旬～12月中旬

交付申請

12月下旬

★実施期間中はFAISコーディネーターによる伴走支援あり

交付決定

12月下旬

補助事業実施

実績報告

補助金精算払

補助期間は交付決定後1年間 ★年度を越えた事業実施可能

提出

お問い合わせ先

公益財団法人北九州産業学術推進機構(FAIS)
イノベーションセンター 情報産業振興グループ
E-Mail : iipc@ksrp.or.jp TEL : 093-695-3077
(担当 : 糸川、加藤、万田)

公募要領・応募様式等はここからダウンロードしてください
<https://www.ksrp.or.jp/fais/iips/grant.html>

